

出席者

大島孝一、坂田麻実子、伊豆津宏二、竹内賢吾、三好寛明

欠席者

鈴木律朗

1) メンバー紹介

2) 「新たに診断された濾胞性リンパ腫の患者に関する多施設前方視的観察研究」の提案

虎の門病院 血液内科 伊豆津宏二 先生より、上記の観察研究を学会のもとで、行いたいとの提案があり、研究の目的、研究デザイン、対象患者(主な適格条件)、目標症例数と予定研究期間、調査方法、結果の公表、研究者、資金源などについての概略の説明があり、学術委員会としては、有益なことであり、進めていく方向で了承を行った。実際の進め方としては、学会時の学術委員会、理事会の承認では、時間が掛かるため、メール審査を行うことで了承を行った。熊本での理事会でも、メール審査で、時間の短縮することを提案することとなった。(追加事項；理事会でも、この案件は承認され、進めていくこととなった。また、総会でもこの案件は、大島よりアナウンスをおこなった)。

3) 竹内賢吾先生より、リンパ腫の亜分類の日本語表記を学会より、統一して提案してはどうかという提案があり、WHO2016 改正がでた時点で、進めることが確認された。

学術委員長

大島孝一(文責)

平成 28 年 9 月 16 日